

すぎなみ大人“熟”してる？

Jukusiteru? TIMES'15

第2号

平成27年6月20日発行

発刊元：塾熟出版（事務局）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

大人のまちの楽しみ方

アソビバージョン + ONE

本日の流れ

- ・友だちって？
- ・友だちをつくるには？
- ・自分の「好き」を紙芝居にして伝える！
- ・自分の「好き」を体験してもらうためには？
- ・ミニ教室の準備をしよう！

第2回 伝えたいことが、あるんだ

大人にとって、友だちつくるのムズかしい！？

▼ 場所をあんさんぶる荻窪に移しての2回目の講座。遊ぶには友だちが必要！ということで、まずは「友だちって？」「友だちをつくるには？」ということ、今回から参加した新たな仲間も交えてグループで話し合った。また会いたいなという思い、利害がない、価値観が同じ、無言な状態でもいい…というアソビノ流友だちの定義(?)を試みた後、意識しないで飲みに行く、ゆるむ、笑顔、オープンマインド、SNS の活用、などが友だちづくりにはいいのでは！？という話へと発展した。

▼ こうした友だちづくりにはコミュニケーションが重要。コミュニケーションは「聴く=相手に関心を寄せる」こと、「自己開示=自分のことを知ってもらうこと」から始まる、ということで「互いに自分の好きを伝え合う」紙芝居作りにチャレンジすることに…。

6月6日

アソビバージョンコース

受講生26名



体験

○部屋は 視聴覚室と和室
○音は どのグループにも響かない程度
○5人1組なので 体験シートは 5人分用意
○体験が出来るのは 部屋の中のみ → 電源(コンセント)が必要な人は 事前に伝えておく

自分の「好き紙芝居」 → 「好き」を体験してもらうミニ教室

▼ 紙芝居は1人5枚を用意。主語を「私」に、伝えたい魅力やまつわるエピソード、わかちあいたいことなどを1人6分で発表する。写真や野球観戦、空間の魅力やパン、手相、築地市場など多種多様な「好き」がグループ内で共有されていた。自分発信の「伝える」ではなく、受け取った人がよさを感じる「伝わる」とは？ どのように体験してもらうとよいだろうか？ 自分自身の「好き」を今日とは違うメンバーにどう体験してもらうとよいだろうか？ こうした互いのアドバイスを考慮し、次回回は、「好き」を体験してもらうミニ教室を1班(5~6人)で催す。新しい発見が増えそうな予感！？ (文：瀬山)

感想集 (一部)

- ・やっぱりみんな伝えたいことがあるんだ。背景が違うって面白い！
- ・自己紹介で思わぬことを伺い、自分も何かお役に立てればと考えました。楽しい一時で若返りました。
- ・固定観念にとらわれず伝えることの大切さを学びました。
- ・今回のミニ教室は、自分でワークショップをやってみるキッカケになります。
- ・だんだんやる事が高度化してきますね。



だがしや楽校deワクワク大作戦 ～ゆるく楽しく地域とつながろう～

第1回 だがしや楽校って何？自己紹介と講座の展望

だがしや
楽校って
なに？

梅雨入りを感じさせる少しムシムシした天気の中、6年目のだがしや楽校コースがスタート。最初は松田先生からのガイダンス。駄菓子屋の店主は、「みせ開き」を通して地域の人と関わっていた。それに倣い、自分の特技や好きなものを見せ合うことで、いろいろな人と出会い、関係を作っていこうというのが「だがしや楽校」。「だがしや」といっても、みせ出しするものは手芸でも、パフォーマンスでも OK。今年のだがしや楽校の最初の目標は、小学校の盆踊り大会会場でのみせ出しだ。



(右) 学習支援者・松田道雄さん
(左) 補助者・谷原博子さん



今年の最初の
舞台は小学校！

小学校といっても、自分自身はもちろん、子どもも卒業してしまいう縁遠い…という人も多い。まずは小学生の気持ちを思い出そう！ということで、谷原さんのアイデアによりジャンケン大会を開催！雰囲気は一気にリラックス。優勝者・準優勝者には、だがしや卒業生手作りの素敵な箸袋が贈られた。

谷原さんは、ご自身の学校・地域コーディネーター活動から、地域の人と学校教育の関わりについてお話して下さった。地域住民による学校支援ボランティアは、勉強のサポートから、図書館での読み聞かせ、学校の花壇のお手入れなど多岐に渡っている。だがしや楽校も、そんな地域住民と学校との橋渡しになるかもしれない。

★ジャンケン大会のルール★

- ①名札に洗濯バサミをつける
- ②お互い名乗って、ジャンケンポン！
- ③勝ったら相手の洗濯バサミをもらう
- ④すべての洗濯バサミを手に入れた人が優勝！

続いて、受講生全員による自己紹介。手話歌や手作り小物の披露など、本当に初回！？と思いたくなるような、充実した「自分みせ」が早くも行われた。その後は松田先生のおすそ分けのさくらんぼをいただきながらの歓談タイム。持ちよったものやそれぞれの活動について、話に花を咲かせていた。

受講生の皆さんの個性が、様々な学びと活動を通して、どのような「だがしや楽校」に昇華していだろうか？楽しみでならない。(文：遠藤)



自己紹介のち
歓談タイム♪



大人塾を支える「おとな」たち

中曽根 聡

「めだかの学校」的社會教育を仕事にして27年。
みんなで元気にワイワイ発想を磨きましょう。

楢山 寿子 (だがし)

奈良県出身。お灸女子。
★最近の関心事★
・収穫しすぎた小松菜の種の行方について
・姪の成長

遠藤 明日香 (だがし)

お隣の三鷹市から、杉並に通い始めました。音楽というか楽器好き。音が出そうなものを見ると触りたい衝動に駆られます。

吉川 浩 (アソビ)

新潟県出身、杉並→練馬→中野区在住。趣味：旅行、喫茶店（ジャズ・名曲含む）・カフェめぐり、野球観戦（プロ、甲子園）。

湊 真澄 (アソビ)

大人塾の創立(?)から関わっています。あんこ・お寺好き。テレビドラマもお任せあれ。最近はや家の木の虫退治に命かけてます。助けて～

瀬山 岬 (アソビ)

旅行・映画・歴史・韓国語・ベース・現代美術・ジャグリング・ビール・エビクリームライスが好きです。睡眠はもっと好きです。

大人塾
STAFF